

2019年度 日本言語文化専攻シラバス

【日本語文化学講座・春学期】

Japanese Language and Cultural Studies / Spring Semester

◆科目名：言語文化交流論 a

Studies of Cross-cultural Relations a

(同時開講の人文科学研究科・日本文化学「表象文化論 I a」のシラバスを参照のこと)

◇担当教員：涌井隆 Takashi Wakui

◇開講時限：春学期金曜 2 限

◇教室：(後日公表する時間割表で確認して下さい)

【日本語文化学講座・秋学期】

Japanese Language and Cultural Studies / Fall Semester

◆科目名：言語文化交流論 b

Studies of Cross-cultural Relations b

(同時開講の人文科学研究科・日本文化学「表象文化論 I b」のシラバスを参照のこと)

◇担当教員：涌井隆 Takashi Wakui

◇開講時限：秋学期火曜 2 限

◇教室：(後日公表する時間割表で確認して下さい)

【日本語教育学講座・春学期】

Teaching Japanese as a Foreign Language / Spring Semester

◆科目名：日本語教育学原論 a

Principles of Teaching Japanese as a Foreign Language a

(同時開講の人文科学研究科・日本語教育学分野「日本語教育学演習 I a」「博士論文研究 I a」のシラバスを参照のこと)

◇担当教員：玉岡賀津雄 TAMAOKA, Katsuo

◇開講時限：春学期月曜 5 限

◇教室：(後日公表する時間割表で確認してください)

◆科目名：日本語教授法概論 a

Methods for Teaching Japanese as a Foreign Language: a

(同時開講の人文科学研究科・日本語教育学分野「日本語教育学概論 a」のシラバスを参照のこと)

- ◇担当教員：鷺見幸美 SUMI, Yukimi
- ◇開講時限：春学期火曜 3 限
- ◇教室：(後日公表する時間割表で確認してください)

◆科目名：対照表現論演習 I a

Contrastive Studies of Linguistic Expressions I (seminar): a

(同時開講の人文科学研究科・日本語教育学分野「日本語教育学特殊研究Ⅱa」のシラバスを参照のこと)

- ◇担当教員：鷺見幸美 SUMI, Yukimi
- ◇開講時限：春学期木曜 3 限
- ◇教室：(後日公表する時間割表で確認してください)

◆科目名：対照表現論演習 IIa

Contrastive Studies of Linguistic Expressions II (seminar): a

(同時開講の人文科学研究科・日本語教育学分野「日本語文法表現論 a」のシラバスを参照のこと)

- ◇担当教員：杉村泰 SUGIMURA, Yasushi
- ◇開講時限：春学期水曜 1 限
- ◇教室：全学教育棟 北棟 307 号室

◆科目名：第二言語習得研究概論 a

Issues in Second Language Acquisition Research a

(同時開講の人文科学研究科・日本語教育学分野「日本語教育学演習 IIa」のシラバスを参照のこと)

- ◇担当教員：林 誠 HAYASHI, Makoto
- ◇開講時限：春学期水曜 2 限
- ◇教室：(後日公表する時間割表で確認して下さい)

【日本語教育学講座・秋学期】

Teaching Japanese as a Foreign Language / Fall Semester

日本語教育学原論 b

Principles of Teaching Japanese as a Foreign Language b

(同時開講の人文科学研究科・日本語教育学分野「日本語教育学演習 I b」「博士論文研究 I b」のシラバスを参照のこと)

- ◇担当教員：玉岡賀津雄 TAMAOKA, Katsuo
- ◇開講時限：秋学期月曜 5 限
- ◇教室：(後日公表する時間割表で確認してください)

◆科目名：日本語教授法概論 b

Methods for Teaching Japanese as a Foreign Language: b

(同時開講の人文科学研究科・日本語教育学分野「日本語教育学概論Ⅱb」のシラバスを参照のこと)

◇担当教員：鷺見幸美 SUMI, Yukimi

◇開講時限：秋学期火曜 3 限

◇教室：後日公表する時間割表で確認してください

◆科目名：対照表現論演習 I b

Contrastive Studies of Linguistic Expressions I (seminar): b

(同時開講の人文科学研究科・日本語教育学分野「日本語教育学特殊研究Ⅱb」のシラバスを参照のこと)

◇担当教員：鷺見幸美 SUMI, Yukimi

◇開講時限：秋学期木曜 3 限

◇教室：後日公表する時間割表で確認してください

◆科目名：対照表現論演習 IIb

Contrastive Studies of Linguistic Expressions II (seminar): b

(同時開講の人文科学研究科・日本語教育学分野「日本語文法表現論 b」のシラバスを参照のこと)

◇担当教員：杉村泰 SUGIMURA, Yasushi

◇開講時限：秋学期水曜 1 限

◇教室：全学教育棟 北棟 307 号室

◆科目名：第二言語習得研究概論 b

Issues in Second Language Acquisition Research b

(同時開講の人文科学研究科・日本語教育学分野「日本語教育学演習 IIb」のシラバスを参照のこと)

◇担当教員：林 誠 HAYASHI, Makoto

◇開講時限：秋学期水曜 2 限

◇教室：(後日公表する時間割表で確認して下さい)

【応用言語学講座・春学期】

Applied Linguistics / Spring Semester

◆科目名：応用言語学特殊研究 a

Special Lecture in Applied Linguistics a

◇副題：名詞化をめぐる諸問題

Various problems concerning nominalization

◇概要：

◇担当教員：奥田智樹 OKUDA, Tomoki

◇開講時限：春学期火曜 4 限

◇教室：(後日公表する時間割表で確認して下さい)

◇目的・ねらい：

日本語や他言語の名詞化について、先行研究の系譜を踏まえていかなる問題が存在するかを明らかにし、その分析を通して垣間見える日本語の特質について考察する。

The aim of this course is to clarify what kind of problems exist about nominalization in Japanese and other languages on the basis of the genealogy of the precedent studies, and to consider the characteristics of Japanese which can be read from the analysis of this category of expressions.

◇履修条件等：特になし。

◇講義内容：

テキスト文献の精読とそれに基づく議論を通して、受講者が自ら新しい研究テーマの設定や考察に結び付けていくための応用力や実践力を養う。

◇教科書・参考書等：

教科書は使用しない。授業ではテキスト文献のコピーを配布する。参考書は授業中に指示する。

◇授業期間中の課題：

毎回の授業で扱うテキスト文献の箇所を、前週の授業で指定するので、予習をして授業に臨むこと。

◇成績評価の方法：発言を含めた授業への貢献度(60%)、学期末試験(40%)

◇注意事項：特になし。

◇オフィス・アワー：火(16:30~18:00) またはメールで相談

研究に関する面談の場合は、なるべく研究の進捗状況をまとめた簡潔なレポートを、事前にメールの添付でお送りください。

◇連絡先：奥田研究室 文系総合館 619号室 メールアドレス t-okuda@nagoya-u.jp

◆科目名：応用言語学データ分析論 a

Data Analysis in Applied Linguistics: a

(同時開講の人文科学研究科・日本語教育学分野「日本語教育文法論 a」のシラバスを参照のこと)

◇担当教員：志波彩子 SHIBA, Ayako

◇開講時限：春学期木曜2限

◇教室：(後日公表する時間割表で確認して下さい)

【応用言語学講座・秋学期】

Applied Linguistics / Fall Semester

◆科目名：応用言語学特殊研究 b

Special Lecture in Applied Linguistics b

◇副題：日本語の連体修飾節構造研究の展望

Perspectives of the studies of Japanese adnominal clause structures

◇概要：

◇担当教員：奥田智樹 OKUDA, Tomoki

◇開講時限：秋学期木曜 4 限

◇教室：(後日公表する時間割表で確認して下さい)

◇目的・ねらい：

日本語の連体修飾節構造について、先行研究の系譜を踏まえていかなる問題が存在するかを明らかにし、その分析を通して垣間見える日本語の特質について考察する。

The aim of this course is to clarify what kind of problems exist about Japanese adnominal clause structures on the basis of the genealogy of the precedent studies, and to consider the characteristics of Japanese which can be read from the analysis of this category of expressions.

◇履修条件等：特になし。

◇講義内容：

日本語の連体修飾節構造に関する最近の論文の精読とそれに基づく議論を通して、受講者が自ら新しい研究テーマの設定や考察に結び付けていくための応用力や実践力を養う。

今期は下記のようなテーマを中心に議論する。

1. 連体修飾語と連体修飾節
2. 外の関係と内の関係
3. 限定的修飾と非限定的修飾
4. 連体修飾節の時制解釈
5. 連体修飾節の意味論的、表現論的な特質
6. 被修飾名詞の類型化
7. 連体修飾節と連用修飾節との接点
8. 他言語との対照研究

◇教科書・参考書等：

教科書は使用しない。授業ではテキスト文献のコピーを配布する。参考書は授業中に指示する。

◇授業期間中の課題：

毎回の授業で扱うテキスト文献の箇所を、前週の授業で指定するので、予習をして授業に臨むこと。

◇成績評価の方法：発言を含めた授業への貢献度(60%)、学期末試験(40%)

◇注意事項：特になし。

◇オフィス・アワー：木(16:30~18:00) またはメールで相談

研究に関する面談の場合は、なるべく研究の進捗状況をまとめた簡潔なレポートを、事前にメールの添付でお送りください。

◇連絡先：奥田研究室 文系総合館 619 号室 メールアドレス t-okuda@nagoya-u.jp

◆科目名：応用言語学データ分析論 b

Data Analysis in Applied Linguistics: b

(同時開講の人文科学研究科・日本語教育学分野「日本語教育文法論 b」のシラバスを参照のこと)

◇担当教員：志波彩子 SHIBA, Ayako

◇開講時限：秋学期水曜 3 限

◇教室：(後日公表する時間割表で確認して下さい)

【比較日本文化学講座・春学期】
Comparative Studies in Japanese Culture / Spring Semester

◆科目名：比較文学論 a

Studies of Comparative Literature a

◇講義題目：三島由紀夫とアダプテーション

◇担当教員：渡辺美樹 Watanabe Miki

◇開講時限：春学期火曜 3 限

◇教室：(後日公表する時間割表で確認して下さい)

◇オフィス・アワー：火(14:30~16:00)

◇目的・ねらい

文学作品は、文学的伝統の中で作られていく。日本文学の伝統の一つに古典のアダプテーションがある。三島由紀夫の『近代能楽集』を精読しながらその典拠作品にあたる能と比較対照させることで日本文学に関する洞察力を涵養する。基本的な文学的な理解力を養うことを目的とする。

All works of literature are connected in some way to literary traditions, which often produces mosaics of literary adaption and quotation. There have been numerous adaptations of Japanese and Chinese classics in modern Japanese literature. In this course close reading of *Kindai Nohgakushu* by Yukio Mishima is undertaken in part through reference to such borrowing. The aim here is primarily to expand your cultural knowledge while developing your literary analytical skills.

◇授業内容：

アダプテーションについて考察した上で、三島由紀夫の『近代能楽集』を読んでいく。そのときに関係する能と一緒に読み進め能の本説へと遡っていくことになる。

第1回：アダプテーションについて

第2回：三島由紀夫の「葵上」を読む(1)

第3回：三島由紀夫の「葵上」を読む(2)

第4回：能『葵上』を読む(1)

第5回：能『葵上』を読む(2)

第6回：ディスカッション：二つの「葵上」について

第7回：三島由紀夫の「熊野」を読む(1)

第8回：三島由紀夫の「熊野」を読む(2)

第9回：能『熊野』を読む(1)

第10回：能『熊野』を読む(2)

第11回：ディスカッション：二つの「熊野」について

第12回：三島由紀夫の「班女」を読む(1)

第13回：三島由紀夫の「班女」を読む(2)

第14回：能『班女』を読む

第15回：ディスカッション：二つの「班女」について

期末試験

◇教科書：三島由紀夫『近代能楽集』新潮文庫、『新編日本古典文学全集 謡曲集』56巻、57巻。

◇参考文献：授業中に取り上げて説明する。

◇履修条件：なし

◇成績評価：レポート(70%)と期末試験(30%)

◆科目名：日中比較文化論 a

Comparative Studies of Japanese and Chinese Cultures a

◇講義題目：古代日本と外来文化

Ancient Japan and Foreign Culture

(同時開講の人文科学研究科・日本文化学「日本文化学特論 a」のシラバスを参照のこと)

◇担当教員：胡 潔 HU, Jie

◇開講時限：春学期木曜 4 限

◇教室：(後日公表する時間割表で確認して下さい)

◆科目名：日韓比較文化論 a

Comparative Studies of Japanese and Korean Cultures a

(同時開講の人文科学研究科・応用日本語学分野「日本事情論」のシラバスを参照のこと)

◇担当教員：浮葉正親 UKIBA, Masachika

◇開講時限：春学期水曜 2 限

◇教室：(後日公表する時間割表で確認して下さい)

【比較日本文化学講座・秋学期】

Comparative Studies in Japanese Culture / Fall Semester

◆科目名：比較文学論 b

Studies of Comparative Literature b

◇講義題目：三島由紀夫とアダプテーション

◇担当教員：渡辺美樹 Watanabe Miki

◇開講時限：秋学期火曜 3 限

◇教室：(後日公表する時間割表で確認して下さい)

◇オフィス・アワー：火(14:30~16:00)

◇目的・ねらい

文学作品は、文学的伝統の中で作られていく。日本文学の伝統の一つに古典のアダプテーションがある。三島由紀夫の『近代能楽集』を精読しながらその典拠作品にあたる能と比較対照させることで日本文学に関する洞察力を涵養する。基本的な文学的な理解力を養うことを目的とする。

All works of literature are connected in some way to literary traditions, which often produces mosaics of literary adaption and quotation. There have been numerous adaptations of Japanese and

Chinese classics in modern Japanese literature. In this course close reading of *Kindai Nohgakushu* by Yukio Mishima is undertaken in part through reference to such borrowing. The aim here is primarily to expand your cultural knowledge while developing your literary analytical skills.

◇授業内容：

アダプテーションについて考察した上で、三島由紀夫の『近代能楽集』を読んでいく。そのときに関係する能と一緒に読み進め能の本説へと遡っていくことになる。

第1回：アダプテーションについて

第2回：三島由紀夫の「邯鄲」を読む(1)

第3回：三島由紀夫の「邯鄲」を読む(2)

第4回：能『邯鄲』を読む(1)

第5回：能『邯鄲』を読む(2)

第6回：ディスカッション：二つの「邯鄲」について

第7回：三島由紀夫の「綾の鼓」を読む(1)

第8回：三島由紀夫の「綾の鼓」を読む(2)

第9回：能『綾鼓』・『恋重荷』を読む(1)

第10回：能『綾鼓』・『恋重荷』を読む(2)

第11回：ディスカッション：二つの「綾の鼓」について

第12回：三島由紀夫の「道成寺」を読む(1)

第13回：三島由紀夫の「道成寺」を読む(2)

第14回：能『道成寺』を読む

第15回：ディスカッション：二つの「道成寺」について

期末試験

◇教科書：三島由紀夫『近代能楽集』新潮文庫、『新編日本古典文学全集 謡曲集』56巻、57巻。

◇参考文献：授業中に取り上げて説明する。

◇履修条件：なし

◇成績評価：レポート(70%)と期末試験(30%)

◆科目名：日中比較文化論 b

Comparative Studies of Japanese and Chinese Cultures b

◇講義題目：古代日本と外来文化

Ancient Japan and Foreign Culture

(同時開講の人文科学研究科・日本文化学「日本文化学特論 b」のシラバスを参照のこと)

◇担当教員：胡 潔 HU, Jie

◇開講時限：秋学期木曜 4 限

◇教室：(後日公表する時間割表で確認して下さい)

◆科目名：日韓比較文化論 b

Comparative Studies of Japanese and Korean Cultures b

(同時開講の人文科学研究科・応用日本語学分野「日本語文化論」のシラバスを参照のこと)

担当教員：浮葉正親 UKIBA, Masachika

開講時限：秋学期水曜 2 限

教室：(後日公表する時間割表で確認して下さい)

【現代日本語学講座・春学期】

Japanese Linguistics / Spring Semester

◆科目名：日本語文法論 a

Syntax and Semantics of Japanese a

(同時開講の人文科学研究科・応用日本語学分野「日本語意味論総合演習 a (General seminar on Japanese semantics a)」のシラバスを参照のこと)

◇担当教員：李 澤熊 LEE, Tack ung

◇開講時限：春学期金曜 2 限

◇教室：(後日公表する時間割表で確認して下さい)

◆科目名：日本語語彙論 a

Japanese Lexicology a

(同時開講の人文科学研究科・応用日本語学分野「日本語語彙論特殊研究 a」のシラバスを参照のこと)

◇担当教員：永澤 済 NAGASAWA, Itsuki

◇開講時限：春学期火曜 3 限

◇教室：(後日公表する時間割表で確認して下さい)

【現代日本語学講座・秋学期】

Japanese Linguistics / Fall Semester

◆科目名：日本語文法論 b

Syntax and Semantics of Japanese b

(同時開講の人文科学研究科・応用日本語学分野「日本語意味論総合演習 b (General seminar on Japanese semantics b)」のシラバスを参照のこと)

◇担当教員：李 澤熊 LEE, Tack ung

◇開講時限：秋学期金曜 2 限

◇教室：(後日公表する時間割表で確認して下さい)

◆科目名：日本語語彙論 b

Japanese Lexicology b

(同時開講の人文科学研究科・応用日本語学分野「日本語語彙論特殊研究 b」のシラバスを参照のこと)

◇担当教員：永澤 済 NAGASAWA, Itsuki

◇開講時限：秋学期火曜 3 限

◇教室：(後日公表する時間割表で確認して下さい)

【日本語教育方法論講座・春学期】

Japanese Language Teaching Methodology / Spring Semester

◆科目名：日本語教育方法論概説 a

Introduction to Japanese Language Education Methodology a

(人文科学研究科・応用日本語学分野「日本語教育方法論発展演習 a」)

今年度は開講せず

◆科目名：コンピュータ支援日本語教育方法論 a

Methods in Computer Assisted Japanese Language Education a

(同時開講の人文科学研究科・応用日本語学分野「日本語教材開発総合演習 a」のシラバスを参照のこと)

◇担当教員：石崎俊子 ISHIZAKI, Toshiko

◇開講時限：春学期木曜 4 限

◇教室：(後日公表する時間割表で確認して下さい)

◆科目名：日本語教育工学 a

Educational Technology for Japanese Language Education a

(同時開講の人文科学研究科・応用日本語学分野「日本語教育工学特論 a」のシラバスを参照のこと)

◇担当教員：佐藤弘毅 SATO Kouki

◇開講時限：春学期木曜 5 限

◇教室：アジア法交流館日本語演習室 7

◆科目名：談話分析方法論 a

Methodology of Discourse Analysis a

(同時開講の人文科学研究科・応用日本語学分野「日本語談話分析総合演習 a」のシラバスを参照のこと)

◇担当教員：俵山雄司 TAWARAYAMA, Yuji

◇開講時限：春学期月曜 2 限

◇教室：(後日公表する時間割表で確認して下さい)

【日本語教育方法論講座・秋学期】

Japanese Language Teaching Methodology / Fall Semester

◆科目名：日本語教育方法論概説 b

Introduction to Japanese Language Education Methodology b

(人文学研究科・応用日本語学分野「日本語教育方法論発展演習 b」)

今年度は開講せず

◆科目名：コンピュータ支援日本語教育方法論 b

Methods in Computer Assisted Japanese Language Education b

(同時開講の人文学研究科・応用日本語学分野「日本語教材開発総合演習 b」のシラバスを参照のこと)

◇担当教員：石崎俊子 ISHIZAKI, Toshiko

◇開講時限：春学期木曜 4 限

◇教室：(後日公表する時間割表で確認して下さい)

◆科目名：日本語教育工学 b

Educational Technology for Japanese Language Education b

(同時開講の人文学研究科・応用日本語学分野「日本語教育工学特論 b」のシラバスを参照のこと)

◇担当教員：佐藤弘毅 SATO Kouki

◇開講時限：秋学期木曜 5 限

◇教室：アジア法交流館日本語演習室 7

◆科目名：談話分析方法論 b

Methodology of Discourse Analysis b

(同時開講の人文学研究科・応用日本語学分野「日本語談話分析総合演習 b」のシラバスを参照のこと)

◇担当教員：俵山雄司 TAWARAYAMA, Yuji

◇開講時限：秋学期月曜 2 限

◇教室：(後日公表する時間割表で確認して下さい)